

# 夏秋トマト栽培後のカーバムナトリウム塩液剤処理がハクサイダニ卵へ及ぼす効果

福島県農業総合センター 生産環境部作物保護科

## 1 部門名

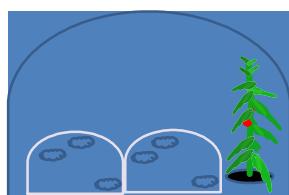
野菜－トマト、シunjギク、その他軟弱野菜－病害虫防除

## 2 担当者

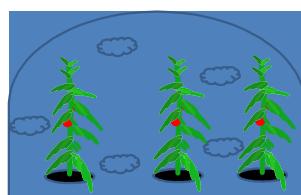
荒川昭弘・山内富士男

## 3 要旨

ハクサイダニが発生したハウスでは、多数の休眠卵が産みつけられており、翌年続けて栽培すると被害の拡大が懸念される。同ハウスで夏秋トマトを栽培し(5月20定植)、栽培終了後(9月13日)にカーバムナトリウム塩液剤(キルパー)で古株枯死処理(トマトに登録あり)を実施することにより(図1)、ハクサイダニ休眠卵のふ化率が低下し(表1)、後作のシunjギク、コマツナ(11月22日定植)への本種の寄生も少なくなった(図2)。



処理方法1:ハウス内で倒したトマト株にビニール被覆後薬剤処理



処理方法2:トマトを倒さずにハウスごと薬剤処理

図1 薬剤の処理方法

2013年9月13日にカーバムナトリウム塩液剤(60ml/m<sup>3</sup>)を50倍に希釈してマルチ内の灌水チューブより注入した。5日後に開放した。

第1表 カーバムナトリウム塩液剤のハクサイダニ卵へのくん蒸効果

処理	区	供試卵数	処理50日後のふ化率
処理方法1	I	100	0
	II	100	0
処理方法2	I	100	0
	II	100	2
	III	100	28
無処理	I	100	37
	II	100	68
	III	100	75

2013年9月13日に薬液処理、5日後に開放した。

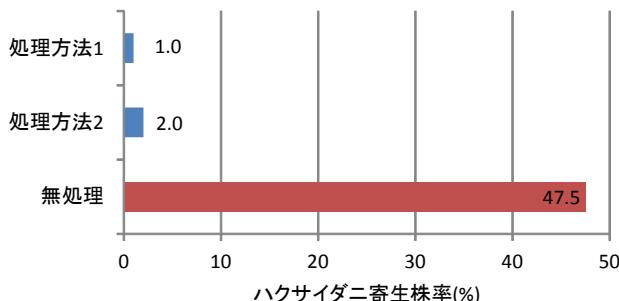


図2 ハクサイダニ卵に対するカーバムナトリウム塩液剤の効果  
9月13日に薬剤処理、12月6日に寄主植物への寄生状況を調査した。

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～26年度
- (2) 研究課題名 難防除病害虫の防除技術の開発
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

## 5 主な参考文献・資料

平成25年度センター試験成績概要